

2014年度予算要望への口頭回答分

日時：2013/12/6(金)18:30~20:30

場所：豊島区役所 地下会議室

保育園課 小野寺課長

ナガサワ係長

ナカノ栄養士

参加人数15名

<制度・子育て施策について>

1. 待機児解消のために、認可保育所を増やしてください。

区→認可保育所作るのに場所、事業者が必要で2~3年かかる。ここ1~2年でつくるのはできないので待機児童解消にはならない。

豊島区は34認可園があり施設間の距離は656mと都内でも4.5番目で上位。

2. 認可保育所を増設するための補助制度を拡充できるように都に要求してください。

区→毎年必ず出している。区長としては出していない。

3. 千早に新たに作る臨時保育所を認可園として区で運営してください。

区→経費の関係で直営は難しい。認可にちかいものになる。

0~3歳児60~69名定員予定。

5年みてさらに5年延長も・・・

4. 公立保育園の民間委託は子どもたちの負担を考え、これ以上すすめないでください。

区→区立保育園と私立保育園を保護者が選択できるのが望ましい。

私立園を望む保護者も多い。

5. 新制度になっても、公的責任をなくさず保育の質を低下させないでください。

区→そう思っている。区も今より下げるつもりはない。

6. 新制度に必要な条例の制定には「子ども・子育て会議」の討議だけではなく、「保護者や従事者との懇談」や「区民との意見交換会」なども開いて、充実したものをつくる様に努力して下さい。

区→子ども課に伝えます。

7. 「面積基準緩和」はつめこみ保育となり、子どもはストレスになり保育士の目が子どもに届かない事態ともなりかねないので、面積基準は緩和せず、これまでの基準を守ってください。

区→守っていきたいです。課長はうごかすつもりはないと思っている。

8. 保育所の面積基準を切り下げた東京都に条例の撤回を求めて下さい。

区→都からの問い合わせがあり区の方から「やりません。」と返答した。

9. 2015年4月から「つばさ福祉会」に委託になる「高松第一保育園」の引き継ぎの件～

保護者→17時ではなく18:15以降でないといけないと参加しにくい。2週間前に決めるのは遅い。説明会の開催希望日をとってもらいたい。

区→園長とも相談します。

10. 食物アレルギーや特別な配慮を必要とする子どもには、すべての保育園で除去食ではなく、代替食などの対応を行ってください。

区→給食運営会の中で協議している、安全第一というところでは代替食の話までいってない。小麦がとても難しい。

保護者→私立はきちんとルールを守ってやっている。安全第一というところできている園もあるなかでは説得力が足りない。

区→園に栄養士がいない、21園ある中で同じルールが難しい。食材も違ってくるのでそこまでいかない。

11. 夜間保育、休日保育しているしいの実・同援さくら保育園の職員配置の補助をつけてください。

区→予算の関係で難しい。

- 1 2. 認証保育所の保育料（入会金含む）は、認可保育所の保育料に準じるよう補助の増額をしてください。

区→今考えているところ、増額考えている。入会金は難しい。

- 1 3. 学童保育のおやつ時間を4時な実施してください。

区→当面は17時で実施していくつもり。

- 1 4. 「新一年生応援保育」を継続実施し、期間の延長と実施箇所増を検討してください。

区→延長することは考えていない。

<放射能・災害対策について>

1. 定点観測だけでなく～
2. 放射線測定器の貸し出し～
3. 未だに放射能が検出されている食材は安心なものを使ってください。
4. 昨年も要望した栄養士や調理関係者の交流、情報交換の場を区の主催で定期的に設けてください。

区→区からの回答参照。

5. 「連絡システム伝言板」の検証の結果を教えてください。使用対象の拡大を検討ください。

区→H24年度から公立に入れている。H24年度371回、H25年度384回全体で使用されている。私立にも導入していくことを考えている。

6. 私立園の耐震化～

区→満たしていない園はない。